

8月のあゆみ

日	曜	行事内容
1日	(金)	山日杯少年野球都留市大会(～3日) 壮年軟式庭球教室開校式
3日	(日)	宝地区自主防災会組織づくり説明会及び防災訓練
4日	(月)	全国市長会理事評議員合同会議(東京) 起震車体感市内巡回(～9日)
5日	(火)	寿町自主防災会組織づくり説明会 厚生年金算定及び事務交付金関係会議(文化会館)
6日	(水)	盛里地区管農飲雑用水施設竣工式(10:00) 文化財審議会
7日	(木)	宝小学校給食室起工式 産業振興対策審議会正副部会長会議
8日	(金)	埼玉県立松山高校P.T.A.後援会都留文科大学を視察 来校51名 総合スポーツ公園上谷地区地権者会議(田原公民館)
9日	(土)	親子水泳教室(～13日)
10日	(日)	上町防災訓練(谷工)
11日	(月)	郡内地区視覚障害者社会人学級 消防団分団長会議

日	曜	行事内容
13日	(水)	鷹の巣地区自主防災会組織づくり説明会
14日	(木)	青少年非行化防止「愛のパトロール」(～15日)
15日	(金)	第48回都留市町別野球大会(～16日・9/1・9/2)
20日	(水)	建設省都市局所管国庫補助事業の完了検査 現職教育講座(～21日)
21日	(木)	山梨県市議会議員親善野球大会(市民グラウンド)
22日	(金)	消費生活講座「有リン・無リン洗剤学習会」(文化会館) 宝地区防災訓練打合せ会議(下大幡自治会館)
26日	(火)	定例農業委員会 厚生年金(社会保険)出張相談(第三会議室)
28日	(木)	青色申告宣言の都市推進委員会 牛石遺跡県視察
29日	(金)	東京法務局第2民事課長来庁し市長と会談 南都留地区青少年対策会議
30日	(土)	一般公開講座開講 都留文科大学夏季休業終了



延長年間(約千五十年前)が揺籃期と言われ、五穀豊稔祈願の祭典、八朔(はっさく)祭りが、毎年九月一日に四日市場生田神社の例祭として開かれることは、周知のところだ。

かつては、県内最大の規模を誇り、大名行列をはじめ、各町競って豪壮な山車(だし)を仕立てて、町全体が祭気分には酔いしれたこの伝統ある祭りも、時代の趨勢とともに、すっかりさびれて、昔日のおもかげはまったく消え失せてしまいました。

ふるさとづくりコーナー

八朔祭にみこしのご巡行 十年ぶりに復活!



氏子総代の努力にもかかわらず、低成長時代を反映して、祭りの資金調達に難儀を極めるなかで、交通事情の悪化が拍車をかけ、単に夜店見物に終始するありさまは、おおよそ農耕の守護神をたてまつる祭典とはかけ離れたもので、心ある人々は胸を痛めていたところでした。

このような不満が高まるにつれて、このまま「居まつり」ばかり続くと、祭りを継承するものが無くなってしまうという危機感と、

かつては、当地が郡内地方の政治・経済・文化の中心地であったというプライドと、折から展開中の「ふるさとづくり市民運動」の推進が相俟って、「本まつり」を実施しようという気運が強まってきました。

こうした祭りをみなおそうとする傾向は八朔祭に限らず、例えば、八月二十八日行なわれた、田原神社の秋の例祭のにぎわいに見られるように、市内各地で積極的に進められています。

こうして、今年の八朔祭は、祭当番の早馬町三番組による一致団結した努力と、四日市場神楽保存会「八朔祭'80 in てる」実行委員会の協力をえて、重さ約五百キロ、関東でも有数といわれる豪華なみこしのご巡行となったわけです。

午前九時半、生田神社本殿を出発したみこしは、子供たちの手に引かれて、午後八時頃まで旧谷村町六町をご巡行しました。八朔祭にみこしがでるのは、四十五年以來、実に十年ぶりとおって行く道々で住民総出の歓迎を受けました。

また、八朔祭りの若者版ともいえる「八朔祭'80 in てる」と銘うったつどいが、城南公園に仮設舞台を設けて開かれました。

このつどいは、多彩な芸能を披露するなかで、自分たちのふるさとをみつめなおそうという主旨で開催されたもので、市内の青年団、都留大生等が主体となり、約三〇〇人の若者を集め、熱気のなかで八朔祭を盛り上げました。